

# 文化財を守る、電気火災対策は進化する。

文化庁の「国宝・重要文化財（建造物）等の防火対策ガイドライン」では、「主たる構造が木造である」建造物について、電気火災に関しては予測が難しく、また内部での火災が急激に拡大する危険性があると注意を喚起しています。  
日東工業は電気火災の要因となる火花放電を「見える化」し、電気火災を未然に防ぐ技術で、貴重な文化財を守る新しい対策を提案します。

事例  
07

国指定重要文化財

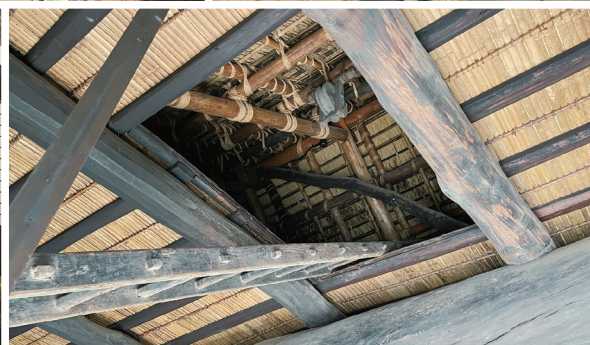
## 高林家住宅

「大和棟」形式の主屋（国指定重要文化財）

上：敷地内の稲荷社・不動堂 下：表門へと続く土塀



主屋内観



主屋の中から見た茅葺き屋根

### 重要文化財民家を電気火災から守る万全の準備。

高林家住宅は、主屋と表門、米蔵、西蔵、および土地が重要文化財に指定されています。白漆喰の土塀に囲まれた中には、主屋、土蔵、不動堂、稲荷社があり、建物と山林を含めた敷地全体が、江戸時代の近畿地方の大規模な庄屋屋敷の構えをよく残しています。この貴重な遺産を災害から守るために、地震時にブレーカを自動遮断する「感震ブレーカー」と、電気火災の引き金となる火花放電を検出する「放電検出ユニット（スパークテクト）」が採用されました。



主屋の梁近くに設置

DATA

高林家住宅 大阪府堺市北区百舌鳥赤畑町5丁647 [2024年2月設置]

【設置機器】 ● 放電検出ユニット（スパークテクト）×1台 ● 感震ブレーカー×1台

【設置場所】 主屋（重要文化財）

業界初

放電検出ユニット(スパークテクト)+感震ブレーカーで  
電気火災を未然に防止。

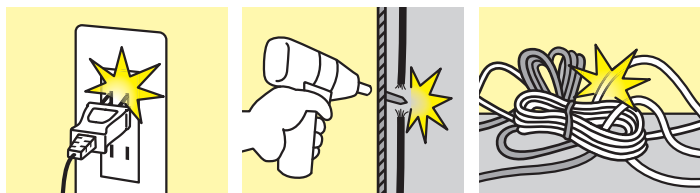
施設の“安全・安心”がさらにレベルアップ!

火花

電気火災の  
約4割は火花が原因

### 些細な原因で起きる火花放電

経年劣化、過度のケーブルストレスによる配線周りでの  
電気火災が多発しています。



トラッキング

ケーブルの破損

コードのねじれ・劣化

### 放電検出ユニット

家屋内の火花放電を検出してお知らせ

コンセントだけでなく、家屋内の配線をまるごと監視します。



**Spartect**  
スパークテクト

動画でチェック!

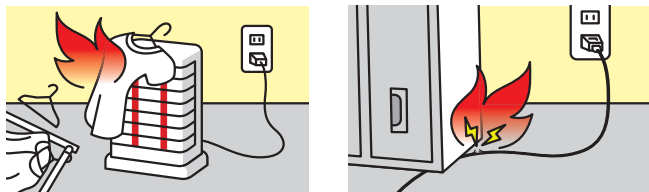


電気  
火災

地震火災の  
約6割は電気が原因

### 電気復旧時の通電火災が怖い

地震による停電の後、電気が復旧し、スイッチが入ったままの電気機器に  
再び電気が通ること、火災が起きる危険性があります。



復電後、電気機器に落下した  
可燃物から発火。

電源コードの被覆が破れて、  
短絡(ショート)により発火。

### 感震ブレーカー

地震の揺れを感知し、ブレーカを自動でOFF

不在時や、ブレーカを切って避難する余裕のない場合にも安心です。



動画でチェック!



災害はいつ起きるかわかりません。  
放電検出ユニットと感震ブレーカーを  
セットで備えると、安心も2倍だね!



日東工業  
イメージキャラクター  
「ソーライオン」

2024年3月発行

●本書からの無断転載は固くお断りいたします。 ●仕様などお断りなしに変更する場合がありますのでご了承ください。  
●本製品の故障や瑕疵により、弊社の予見の有無を問わず生じた二次損害につきましては、弊社は一切の責任を負いかねます。  
●記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

**NITO** 日東工業株式会社

〒480-1189 愛知県長久手市蟹原2201番地  
TEL(0561)62-3111(大代)  
お客様相談センター/TEL(0561)64-0152  
工場/瀬戸・菊川・掛川・磐田・中津川・唐津・花巻・栃木野木

K-525 5200034 NT  
OM10LCC22